

第74回県展 出品規定決まる

審査 9月22日から

第74回徳島県美術展（県民文化祭開催委員会、県美術家協会、徳島新聞社主催）の出品規定と審査員が決まった。審査は9月22日（日本画、洋画、彫刻、美術工芸）、28日（書道）、29日（写真、デザイン）の3日間。展覧会は3期に分けて徳島市のあわぎんホールで開かれる。1期（日本画、洋画、彫刻、美術工芸、デザイン）は10月5～13日。2期（写真と、日本画、洋画、彫刻、美術工芸、デザインの特別、招待、賛助作品）は9～16日。3期（書道）は15～22日。

【搬入・審査】日時、内在住者や在勤者、県出日のいずれも午後5～6場所は（表1）の通り。身者▽高校生以上▽出品時に搬出する。書道は9月21日午前9時。点数は写真5点まで。他半▽11時半に出品申込書と出品料をあわぎんホール3階展示室で提出する。審査は7部門全て公開。

【入賞・入選】特選などの点数は（表2）の通り。各部門の特選のうち最も優れた作品にそれぞれ特別賞を贈る。特別賞は同格。9月24日午後5時まで。【表彰】特選、準特選は賞状と賞金。奨励賞は賞状と記念品。入選者には会期中に展覧会場の受付で賞状を贈る。表彰式（特選、準特選、奨励賞が対象）は10月13日午前10時半から、あわぎんホール。

【出品料】県美術家協会会員1点3500円、一般4500円、高校生2徳島町21512、徳島新聞社事業部内、県美術展事務局（電088（655）7331）。【問い合わせ】〒777-5000 徳島市中般4500円、高校生2徳島町21512、徳島新聞社事業部内、県美術展事務局（電088（655）7331）。

【搬出】日本画、洋画、彫刻、美術工芸の選外作品は審査終了後から9月24日午後5時まで。【作品の大きさ・種類】（詳細は出品規定で要確認）▽日本画額、つりひもを付ける。アクリルやガラスなどで画面を覆わないこと。額縁を除いて70×47センチ以上。額縁を含めた縦横の長さが1辺1.9以内。

【出品資格・制限】県16日、3期（書道）は22日から60号まで（版画は8つ切り額以上、S型は30号まで）。水彩画、版画はアクリルを認める。20号から60号まで（版画は8つ切り額以上、S型は30号まで）。写真ハネル貼りに限る。額装は禁止（ガラス、アクリル装着や金で、展示できる用具を付属、プラスチック、木などによる枠取り不可）。単写真、組み写真とも半切およびA3から全倍サイズ。画面の長辺が40～90センチ。正方形は1辺が30～60センチ。組み写真は1ハネル（90×180センチ以内）に全写真を固定。▽彫刻材料自由。展示可能なものに限る。高詩文書、前衛（文字を表現したものを）。それぞれに積文を付ける。半切または全紙2分の1以上。仕上がり面積が1.47平方方尺（16平方尺）以内で縦横は自由。卷子、帖は40×300センチ以内。篆刻は印影とし、縦39×横30センチ以内の額に限る。▽デザインイラストレーション、グラフィックとし、原画の材質は問わない。ガラス額装は不可。実在の商品名、会社名なども不可。著作権、肖像権に触れないこと。つりひもを付ける。B1サイズ（728×1030センチ）で厚さ5～75ミリ。外枠（幅20センチ以内）を含めた重さが5キ以内。

あわぎんホールで10月展覧会

区分	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン
搬入日時	9月22日(日) 9:30~12:00	9月21日(土) 9:30~15:00	9月29日(日) 9:30~12:00	9月22日(日) 9:30~13:00	9月22日(日) 9:30~12:00	9月27日(金) 9:30~11:30	9月29日(日) 9:30~12:00
搬入場所	大 展	A展①~③	A展①~④	A展④~⑤	B展⑥~⑧	A展①~④ B展⑥~⑧	B展⑥~⑦
審査日時	9月22日(日) 13:00~	9月22日(日) 9:30~	9月29日(日) 13:00~	9月22日(日) 14:00~	9月22日(日) 13:00~	9月28日(土) 9:30~	9月29日(日) 13:00~
審査場所	上に同じ	上に同じ	上に同じ	上に同じ	上に同じ	上に同じ	上に同じ

区分	特選	特別賞 (特選の中から1点)	準特選	奨励賞 (上限)	入選
日本画	2	徳島市長賞	3	3	規定数
洋画	3	徳島新聞社長賞	6	5	〃
写真	4	徳島放送社長賞	9	8	〃
彫刻	1	県美術家協会賞	2	2	〃
美術工芸	2	県知事賞	4	3	〃
書道	8	県議会議長賞	14	13	〃
デザイン	2	県教育長賞	3	3	〃

▽美術工芸木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラスなど。展示できる用具を付ける。立体作品は縦×横×奥行きが12万5千立方センチ以内。ただし縦、横、奥行きがいずれも1センチ以内。平面作品は縦×横が2万2500平方センチ以内。ただし縦1.8センチ、横1.5センチ以内。▽書道漢字（臨書不可）、篆刻（模刻不可）、彫刻材料自由。展示可能なものに限る。高詩文書、前衛（文字を表現したものを）。それぞれに積文を付ける。半切または全紙2分の1以上。仕上がり面積が1.47平方方尺（16平方尺）以内で縦横は自由。卷子、帖は40×300センチ以内。篆刻は印影とし、縦39×横30センチ以内の額に限る。▽デザインイラストレーション、グラフィックとし、原画の材質は問わない。ガラス額装は不可。実在の商品名、会社名なども不可。著作権、肖像権に触れないこと。つりひもを付ける。B1サイズ（728×1030センチ）で厚さ5～75ミリ。外枠（幅20センチ以内）を含めた重さが5キ以内。

各部門審査員

審査員は次の通り（名前①住所②所属団体・役職名③主な受賞歴）敬称略。
【日本画】宮北千織①東京都町田市②東京芸大准教授、日本美術院同人③再興院展内閣総理大臣賞
【洋画】湯山俊久①横浜市磯子区②日展理事③日展会員賞、日展内閣総理大臣賞、日本芸術院賞
【写真】立木義浩①東京都港区②写真家③日本写真協会賞、日本写真協会賞作家賞、文化庁長官表彰
【彫刻】黒川弘毅①東京都国立市②武蔵野美大教授
【美術工芸】大樋年雄①金沢市②大樋焼陶芸家、日展特別会員、東京芸大非常勤講師③日展特選2回、日展会員賞、15年日本現代工芸美術展内閣総理大臣賞
【書道】吉澤鐵之（漢字・篆）

【写真】立木義浩①東京都港区②写真家③日本写真協会賞、日本写真協会賞作家賞、文化庁長官表彰
【彫刻】黒川弘毅①東京都国立市②武蔵野美大教授
【美術工芸】大樋年雄①金沢市②大樋焼陶芸家、日展特別会員、東京芸大非常勤講師③日展特選2回、日展会員賞、15年日本現代工芸美術展内閣総理大臣賞
【書道】吉澤鐵之（漢字・篆）

日本画



宮北千織さん

洋画



湯山俊久さん

写真



立木義浩さん

彫刻



黒川弘毅さん

美術工芸



大樋年雄さん

デザイン



居山浩二さん

書道



永守蒼穹さん



高木厚人さん



吉澤鐵之さん

院賞
【写真】立木義浩①東京都港区②写真家③日本写真協会賞、日本写真協会賞作家賞、文化庁長官表彰
【彫刻】黒川弘毅①東京都国立市②武蔵野美大教授
【美術工芸】大樋年雄①金沢市②大樋焼陶芸家、日展特別会員、東京芸大非常勤講師③日展特選2回、日展会員賞、15年日本現代工芸美術展内閣総理大臣賞
【書道】吉澤鐵之（漢字・篆）